



————— 主な内容 —————

- みんなで取り組む課題、自転車共済更新…2
- お知らせ・平和行進、最賃署名のお願い…3
- 第97回全京都統一メーデー……………4
- 第73回南山城統一メーデー……………5
- 5・3憲法集会……………6
- 特殊詐欺・フィッシング詐欺……………7
- 京都の催事案内・織田信長公忌……………8
- 行楽 嵐山モンキーパークいわたやま……9
- 編集後記、まちがいがしがこたえ……………10

発行所

全日本建設交運一般労働組合 (建交労)
京都 事業団・高齢者部会
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地
Tel 075-691-1007 Fax 671-1641
Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp
発行日 毎月15日 一部30円
No.362 (2026年) 5月号



もうすっかり新緑の世界に。何かバタバタしてる間に桜が
終わりましたが、それでも5枚程の桜の絵を描きました。
いろんな描き方があるようですが、私流に人など入れての
作品にしたりして。このところ、楽しくリズムミカルに絵筆が
動いてくれてます。
(上林常哲さんのブログより)

神社さんの桜

上林常哲

みんなで取り組む課題

第6回支部執行委員会は3月18日に行い、10人出席のもと開催して、以下のとおり報告・討議しました。

1. 各分会の取り組み

- ① 宇治分会とワークセンターでは、ベテランの退職で作業段取りに不安と苦労。
- ② ソーシャル京都事業所でもヘルパーの退職が続く。利用者拡大の困難さも報告された。

2. 各分会の取り組み

- ① ソーシャルサービス協会京都事業所分会、春闘妥結確認と三六協定書の更新の報告。
- ② 宇治分会、宇治高齢者事業団は3月28日に社員総会を開催、事業計画と予算案、定年延長が決定された。

3. 京都府知事選挙の取り組み

- ① 開票結果の資料と基に、取り組みの意見交換を行った。
- 選挙はがきに対する組合員さんからの意見有無などの情報交換。
- ② 選挙カンパの集計、支払先などを報告した。

4. 今後の取り組み

- ① メーデーの段取りを報告、参加者の確認を行った。
- デコカー左側の横断幕を新調することを了承。
- ② 支部「職場アンケート」の取り扱いと組合員の皆さんへの報告の段取りを報告。
- ③ 京都総評・最賃署名の内容と署名集めの取り組み。
- ④ 全国事業団・高齢者部会から要請の「ハローワーク前アンケート活動」を今年も行うことを確認。
- 6月8日(月)実施で調整。
- 配布物と労働局への行動事前通知など、京都総評との準備の詰め。
- ⑤ その他の報告事項
- 自転車共済の更新手続き。
- シルバー西浦公園の組合員さんの状況など報告。
- 次回の支部大会は10月24日(土)午前の開催を了承。

自転車共済の受付をしています

- 5月中に、組合事務所へお申し込みの手続きを。
- 掛金は申込時の一括払で、2,000円＋(600円×人数)です。つまり、本人のみなら2,600円、ご夫婦なら3,200円です。

お知らせ

原水爆禁止 国民平和大行進**6月27日(日) 昼12時30分 ラクト山科公園**

山科駅近くの「ラクト山科公園」で滋賀県からの引き継ぎ集会の後、外環三条から三条通（府道四ノ宮四ツ塚線）を三条大橋・京都市役所に向かって歩きます。約6km。

非核三原則・憲法守れ、核兵器禁止条約参加を！**非核平和の日本の実現をめざして歩こう！**

米国とイスラエルによるイランへの武力攻撃と主権侵害、ロシアによるウクライナ侵略の継続など、核保有国が国連憲章・国際法を無視する横暴な振る舞いを続け、世界に危機をもたらしています。国連憲章にもとづく平和秩序を取り戻すためにも、今こそ日本が憲法9条にもとづく平和外交を。

“最賃署名”にご協力ください

今年も、京都府最低賃金の引き上げと、中小企業に対する支援策を求める署名にご協力ください。

ご署名いただけましたら、最寄りの執行委員か労働組合事務所、京都高齢者福祉事業団事務局までお届けください。



第97回 全京都統一メーデー



今年のメーデーは、集合時間には少々激しい雨模様となりました。どういわけか、隔年で雨天と晴天が巡ってきます。それでも二条城前のメーデー会場には、主催者発表で4千人の労働者が集まりました。午前10時のメーデー大会が始まる頃には雨もやみ、梶川京都総評議長から「皆さん、雨も上がりました!」との主催者挨拶がありました。

京都支部からは18人の組合員が参加し、ゼッケンを着け、組合旗やプラカードを掲げて行進しました。例年通り「わしらの宝」などのメーデー歌を流しながら、デコカーを先頭に東本願寺前まで歩きました。

第73回南山城統一メーデー

京都支部宇治分会長 嘉村 茂さん



「働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう！」をシンボルスローガンに掲げ、宇治城陽久御山地区労働組合協議会の主催による「第73回南山城統一メーデー」が、宇治市・太陽が丘メインステージで開催されました。当日は朝から降りしきる雨という天候にもかかわらず、300人を超える労働者が結集し、会場は熱気に包まれていました。私たち宇治分会からも、過去最多となる15名の仲間が参加し、組合の団結の強さを改めて実感する機会となりました。緑化土木をはじめ、各駐輪場など様々な職場から参加があり、普段なかなか顔を合わせることの少ない仲間同士が、仕事の話や孫の話、家庭のこと、そして事業団の現状や課題について語り合い、終始和やかな雰囲気にも包まれていました。

気がつけば時間はあっという間に過ぎ、ステージではすでに閉会の挨拶が始まっているほどでした。その中で、組合員の皆さんから日頃なかなか聞くことのできない率直な意見や思いを伺うことができ、私自身にとつて貴重な学びの場となりました。同時に、組合に寄せられている期待の大きさを改めて実感し、その責任の重さを強く感じました。また、今回は初めてプラカードを持参して参加しました。その結果、コンクールで見事2等賞を受賞することができました。副賞としていただいた賞金は、参加者全員で分かち合い、喜びを共有しました。閉会の頃には雨も上がり、まるでこれからの組合活動の前途を明るく示しているかのように感じられました。「こんなに充実した一日になるのなら、来月もメーデーがあればいいのに……」と思わず感じてしまうほど、意義深く楽しい一日となりました(笑)。

守ろう9条「5・3憲法集会」に2800人

ソーシャルサービス協会ワークセンター 山内 登さん

憲法記念日の5月3日、東山区の円山公園野外音楽堂で「生かそう憲法・守ろう9条 5・3憲法集会」が開かれました。小雨がぱらつく中でしたが、会場を埋め尽くした約2800人（主催者発表）の市民が、平和と憲法を守る思いを共有しました。



▲中野晃一上智大教授の講演

集会では、改憲をめぐる政治情勢についても触れられました。高市首相は4月の自民党大会で、来年春までの憲法改正発議に意欲を示

し、持論の国防軍保持や緊急事態条項創設への考えを、改めて表明しています。こうした情勢のもと、今年の会場は立ち見が出るほどの盛況となり、近年では最多規模の参加者数となりました。

講演した中野晃一さん（上智大学教授・政治学者）は、「今、戦争ではなく平和への道を歩むには」と題して、「憲法改正を止めることができれば、日本から平和への流れを広げていける可能性がある」と訴えました。そして、「この憲法を持つ私たちが世界の人々と連帯し、平和を築いていこう」と呼びかけました。集会後、参加者は「9条生かして、平和をつくろう！」などと声を上げながら、祇園石段下から京都市役所までデモ行進しました。

5月のまちがいさがし ドラッグストア

2つの絵で違いが7カ所あります。
(答えは10ページ)





特殊詐欺・フィッシング詐欺にご注意を

身近に潜む「だまし」の手口と防止策

近年、電話やインターネットを利用した特殊詐欺やフィッシング詐欺の被害が後を絶ちません。とりわけ高齢者を狙ったケースが多く、被害額も深刻化しています。こうした犯罪は年々手口が巧妙化し、「自分は大丈夫」と思っているにもかかわらず。

代表的な特殊詐欺としては、いわゆる「オレオレ詐欺」親族を装い金銭を要求する手口や「還付金詐欺



Ⅱ医療費や税金の払い戻しを装うもの」「架空請求詐欺」利用していないサービスの料金を請求するもの」などがあります。

最近では、警察官や金融機関職員を名乗り「カードが不正利用されている」として暗証番号を聞き出したり、カードそのものをだまし取る手口も増えています。

一方、フィッシング詐欺は、メールやSMS（ショートメッセージ）を使って実在する企業や金融機関を装い、偽のホームページへ誘導して個人情報やパスワードを盗み取るものです。「アカウントが停止されます」「至急手続きが必要」といった不安をあおる文面が特徴で、スマートフォン の普及により被害は広がっています。

これらの詐欺に共通するのは「急がせる」「不安にさせる」「他人に相談させない」という点です。電話であれば一度切って、家族や知人に

確認する、メールやSMSのリンクは安易に開かない、といった基本的な対応が重要です。また、金融機関や公的機関が電話で暗証番号を尋ねたり、ATMで還付金手続きをさせることはありません。こうした「あり得ない要求」に気づくことが被害防止につながります。

具体的な予防策としては、①留守番電話機能の活用（知らない番号には出ない……固定電話でも留守電の利用を）、②キャッシュカードや通帳を他人に渡さない、③パスワードの使い回しを避ける、④不審な連絡は家族や警察に相談する、といった点が挙げられます。

日頃から家族や職場で情報を共有し「声をかけ合う関係」をつくることも大切です。本人だけでなく、周囲の私たちが関心を持ち、注意を促し合うことが被害防止の鍵となります。組合員一人ひとりが知識を持ち、地域や家庭での見守りを強め、大切な財産と安心を守りましょう。



京都の催事案内

有料行事を含む、イベント予定を
拾ってみました。主催者の都合や
天候等で、中止の場合があります。

6月1日(月) 能の世界へおこしやす／ROOMシアター

京都薪能(本公演)／平安神宮

紫陽花まつり／藤森神社

6月2日(火) 信長公忌／本能寺(寺町御池下ル)

信長忌／阿弥陀寺(寺町上立売上ル)

6月3日(水) 京都芸術花火／JRA京都競馬場

6月6日(土) 味覚めぐり蛍の夕べ／みどり農園(井手)

滝行体験／熊野若王子神社(左京区)

6月7日(日) 探燈大護摩供／聖護院門跡(左京区)

祇園放生会／辰巳大明神(祇園白川巽橋)

6月11日(木) 沙羅の花を愛でる会／妙心寺東林院

6月13日(土) 和泉式部忌法要／誓願寺(新京極六角)

若鮎祭／嵐山・中ノ島公園

6月14日(日) 光秀公忌／谷性寺(亀岡市宮前町)

6月19日(金) トワイライトプラネタリウム

／京都市青少年科学センター(伏見区深草)

6月25日(木) 大茅の輪くぐり／北野天満宮

6月26日(金) 京都アンティークフェア／パルスプラザ

6月27日(土) 梅酒づくりと歴史をめぐる／山城青谷駅

水無月のあれこれ 〓本能寺の変〓

本能寺で織田信長が明智光秀に寝込みを襲われたのは、天正10年6月2日早朝(現在の暦では1582年6月21日)。この事件は時代劇でもおなじみの名場面であり、いまなお黒幕説など、様々な歴史解釈が語られている。

本能寺・信長公忌(6月2日)

法華宗大本山本能寺は事件当時、中京区小川通六角付近、市立堀川高校の東側一帯にあった。この地にあった本能小学校は平成5年に廃校となり、その後、発掘調査が行われた。現在の寺町御池下ルの本能寺では、信長の命日にあたる6月2日午後には法要が営まれる。

阿弥陀寺・信長忌(6月2日)

蓮台山捨見院阿弥陀寺は浄土宗の寺院で、元は上立売大宮にあった。住職の清玉上人は信長と縁があり、事件の報を聞いて合戦中の本能寺に駆けつけ、自刃した信長父子らの遺骸や骨灰を持ち帰り、埋葬したという逸話が残る。現在の阿弥陀寺は寺町通を今出川から550以北へ行った所で、表門に「織田信長公本廟」の碑。6月2日は朝から法要が行われ、記念御朱印の授与もある。なお、清玉と豊臣秀吉は不仲で、秀吉が大徳寺捨見院を信長の菩提寺としたことから、阿弥陀寺は次第に衰えた。

行楽

嵐山モンキーパークいわたやま

建交労京都支部OB 中村 崇さん

以前、「嵐山の戦跡巡り」で、阪急嵐山線沿線に今も残る戦争の傷跡や、嵐山に点在する「日中友好」の史跡を紹介しました。今回は、岩田山自然遊園地にある「モンキーパーク」を訪れる取り組みに参加してきました。

当日は19人が阪急桂駅に集合し、嵐山へ向かいました。電車の最後尾から線路を見ると、複線構造の跡が残っています。嵐山線は昭和3年に複線で開業しましたが、利用が伸びず単線運行となり、その後、戦局悪化の「金属供出令」により線路などが供出されました。沿線には今も線路跡や架線柱、橋台などが残り、観光地の中に戦争の歴史が静かに刻まれていることを改めて感じました。

車内や嵐山周辺は外国人観光客で大変な賑わいでした。外国語が飛び交う中、一行は桜が散った後の嵐山公園を



中ノ島・日中不戦碑

歩きました。新緑の葉桜が美しく、春から初夏へ移る季節を感じさせます。やがて岩田山自然遊園地に到着し、入山料800円を払って登山道を登り始めました。石段や坂道が続きますが、



モンキーパーク入口

道はよく整備され、途中にはベンチも置かれており、高齢者でも無理なく歩けました。外国人観光客の姿も多く、海外のガイドやパンフレットなどで広く紹介されているようでした。

登山道ではサル姿は見えませんでした。山頂近くの公園では多くのニホンザルが群れていました。人に慣れているためか、近くまで寄ってきて逃げる様子はありません。ただし、直接餌を与えることは禁止されており、小屋の中からサルに餌を渡して観察できるよう工夫されていました。愛嬌のあるしぐさを見せる一方で、野生動物としての迫力も感じられました。少し登ると展望台があり、新緑の山々や京都市街を一望でき、爽やかな風の中で景色を楽しめました。

昼食は、山頂付近は日陰が少なく、おまけにサルたちが行き交い落ち着かないため、「下に降りて食べよう」と、嵐山公園の中ノ島まで戻り、にぎやかに弁当を広げました。食後は自由解散となり、私たち夫婦は渡月橋を渡って茶店で一息つき、春の嵐山の余韻を味わいながら帰路につきました。



休憩所から

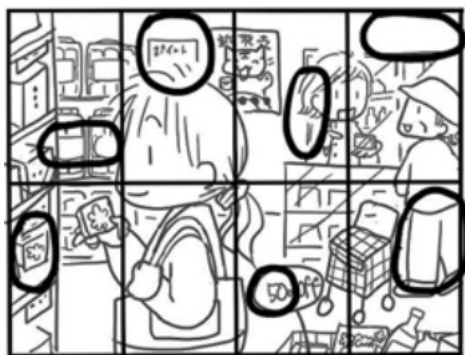
編集後記

シルバー人材センター西浦公園の組合員さんから、昨年、熱中症で視力低下して難儀したと伺いました。▼高温による目の中のタンパク質の熱変性、脱水、強い紫外線が原因。▼いきなり夏模様です。眼鏡や帽子で目を守り、こまめな水分補給を。

改憲より景気対策が先やろう

高市首相は「時は来た」と憲法改正を掲げ、来年春までの発議を、笑顔で宣言した。国防軍の保持や緊急事態条項の創設が目玉という。▼しかし憲法集会では懸念の声が上がった。緊急事態条項は「議員がいつまでも議席にしがみつくための利権であり、市民の自由を奪うもの」との批判が講演された。▼国民の多くが憲法改正を喫緊の課題と感じているかどうか、甚だ疑問である。▼一方、食料品の消費税ゼロは景気への即効性が

高く、物価高に苦しむ家庭への直接的救済となるにもかかわらず、議論は遅々として進まない。首相は総選挙で「私の悲願です」と言った割に、やる気のなさが透けて見える。▼国民が切実に求めているのは、トランプとネタニヤフが引き起こしたイラン戦争による原油高・ナフサ不足への対策であり、円安と物価高騰への処方箋ではないのか。政治の優先順位が狂っている。▼痛みを受けるのは、いつも生活に苦しむ庶民です。首相の野心や関心事よりも、国民の「生活」を優先してほしい。(や)



まちがいさがしのこたえ